

業務改善の実施状況報告

組織名	中部森林管理局 東信森林管理署	連絡先	050-3160-6055
所管する業務の概要	長野県東信地域の15市町村に位置する60千haの国有林の管理経営、治山事業の実施及び民有林と連携した森林整備の推進等		

1. 職員の基本的な心構え・行動について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
<p>(国民の意見、要請、苦情に対する姿勢)</p> <p>①意見、要請、苦情等が寄せられた場合は、関係者が一堂に集まり協議し、早急に対応するようルール化している。</p> <p>②県地方事務所、市町村等と懇談会を実施している。</p> <p>(国民への情報提供姿勢)</p> <p>①求められた情報の目的を聞き、目的にあった情報を提供するよう努めている。なお、求められた情報に直接該当するものがなくても、対応できるものがないか署内で協議し回答することとしている。</p> <p>②国民に知ってもらいたい情報は、地方紙等を通じて積極的に提供している。</p>	<p>引き続き情報の共有を図りつつ、国民の意見、要請、苦情等の把握と適切な対応に努める。</p> <p>情報提供を求められた場合は丁寧な対応に努め、その経過は関係者間で共有するとともに、対応状況についてフォローアップを図る。</p>

2. 国民視点に立った業務の遂行について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
<p>(政策・事業等の企画立案・推進) 地域関係者との対話、関係者と合同の現地調査、県地方事務所等との情報交換等により政策ニーズの把握に努めるとともに、NPO等と連携した活動等を通じ、一般の人に政策・事業を十分理解してもらうよう努めている。</p> <p>(リスク管理) 業務に関連して問題が生じた場合は、署全体で対処することとしている。 このため、情報の速やかな共有を図るとともに、上司は対応の経過や結果の確認をし、適切な対応が図られるよう指示等している。</p> <p>(食の安全に関する取組) 食の安全の重要性について、会議における指導等により再認識するとともに、国有林としての取組においても「国民視点」を意識して業務に当たっている。</p>	<p>地域におけるニーズの把握と、積極的な情報の発信に一層努めていく。</p> <p>緊急情報の的確かつ迅速な把握、署内及び森林管理局での情報の共有について、一層確実に行えるよう、連絡対応や情報の伝達手段等を見直し、必要に応じ改善を図っていく。</p>

3. 業務を適切かつ円滑に遂行するための職場環境づくりについて	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
<p>定期的に出署日を行い職員が一堂に会す機会や課内会議を設ける等の中で、情報や認識の共有を図っている。</p>	<p>上司は、引き続き各係等の現状の把握に努め、適切な指示を行う。</p>

4. その他の農林水産省改革を進めるための取組について	
・これまでの取組実績及び現在実施している取組	・今後の課題とその改善策
①森林整備の重要性を理解してもらうため、県や市町村、林業事業体と連携した地域での植・育樹祭の実施 ②国有林を活用したり、学校へ出向くなどした森林教室の実施 等により、取組への理解の醸成を図っている。	地域との連携等による効果的な実施。